



施策分野別の基本計画

基本目標Ⅰ 誰もが安全でいきいきと暮らせる安心・福祉都市

政策の基本方向

- 1 あたたかい地域福祉社会をつくります
- 2 次代を担う子どもが健やかに生まれ育つ社会をつくります
- 3 高齢者がいきいきと暮らせる社会をつくります
- 4 障害者がいきいきと暮らせる社会をつくります
- 5 健康に暮らせる社会をつくります
- 6 安全で安心して暮らせる社会をつくります

基本目標Ⅱ 学びあい 人と地域をはぐくむ教育・文化都市

政策の基本方向

- 7 心豊かな子どもをはぐくむ教育環境をつくります
- 8 生涯を通じ学習する人・スポーツする人を支援する社会をつくります
- 9 豊かな市民文化を創造する社会をつくります
- 10 人権と世界平和を尊重し、ともに生きる社会をつくります

基本目標Ⅲ やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市

政策の基本方向

- 11 次代につなぐ持続可能な社会をつくります
- 12 限りある資源を大切にす循環型社会をつくります
- 13 恵み豊かな自然環境を守り育てます
- 14 人にやさしい快適な生活環境をつくります
- 15 地域経済と雇用を支える産業を振興します

基本目標Ⅳ 活力にあふれ多様な交流が生まれる広域交流拠点都市

政策の基本方向

- 16 地域の特色を生かした土地利用を進めます
- 17 魅力あふれる質の高い都市をつくります
- 18 都市を支える交通基盤をつくります
- 19 魅力ある景観やゆとりある住環境の形成を図ります
- 20 基地全面返還の実現をめざします

基本目標Ⅴ 市民とともに創る自立分権都市

政策の基本方向

- 21 個性豊かな地域コミュニティをつくります
- 22 行政サービスの質の向上を図ります

施策分野別の基本計画の見方

政策の基本方向 1
あたらしい地域福祉社会のつくりかた

施策 1 地域福祉の推進

1 課題と展望

生活様式の多様化や核家族化、少子高齢化など社会環境の変化により、ひとり暮らし高齢者の増加や地域コミュニティの希薄化が進んでおり、高齢者や障害者などが地域で孤立する課題などが生じています。こうしたなか、誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、福祉サービスなどを利用しながら、住民相互が支えあいの関係を築き、あたたかい地域社会をつくる地域福祉の取り組みが求められています。このため、福祉への理解と意識の向上に向けた取り組みを進めるとともに、市民の主体的な福祉活動への支援を図るなど、地域社会で支えあう福祉活動の促進に取り組む必要があります。

また、誰もが快適な日常生活を送ることができるよう、公共施設・公共交通のバリアフリー¹化を推進する必要があります。

2 めざす姿

●住民がともに地域で支えあっている。

5 福祉分野におけるボランティア活動への参加状況

年代	参加している	参加していない
平成21年度	76.8	23.2
平成18年度	76.2	23.8

3 取り組みの方向

- 1 地域福祉活動の推進
福祉への理解と意識の向上を図るとともに、地域の課題解決に向けて、参加と連携により地域全体で支えあう福祉コミュニティづくりを進めます。
- 2 バリアフリーによる福祉のまちづくりの推進
誰もが公共施設・公共交通を快適に利用できるよう、道路・公園や駅などのバリアフリー化を進めることにより、福祉のまちづくりの推進に取り組みます。

4 主な事業

- 地域福祉活動推進事業
- 民生委員・児童委員活動推進事業

資料いいきまの様子
光が丘にぎわいの様子

6 アプローチ

①として、道路や建築物の入口の段差などを除去することを意味しているが、それ以外にも、社会的・制度的・心理的なバリア除去という意味が込められている。

②として、道路や建築物の入口の段差などを除去することを意味しているが、それ以外にも、社会的・制度的・心理的なバリア除去という意味が込められている。

7 成果指標

指標と説明	単位	基準値 [平成20年度]	中間目標 [平成26年度]	最終目標 [平成31年度]
【指標1】地域で、住民が互いに支えあっていると感じる市民の割合 *住民が福祉活動で互いに支えあっているかを見る指標	%	29.2	38.3	45.8

目標設定の考え方 地域の人たちの支えあひ活動の場の一つであるサロン²の設置増加数の割合を参考に、目標として設定しました。 [出典]「市民アンケート」

①【課題と展望】

各施策の現状や課題、今後の展望について記載しています。

②【めざす姿】

各施策の目的や目標を明確にするために施策ごとに定めています。

③【取り組みの方向】

「めざす姿」を実現するために必要な取り組みの方向を定めています。

④【主な事業】

「めざす姿」を実現するために実施する主な事業を記載しています。

⑤【施策別データ】

各施策の現状や課題を示す、統計データ（※）やアンケート調査、写真などを掲載しています。

⑥【用語解説】

専門用語などの解説を記載しています。なお、巻末の付属資料（P226～）に50音順で一覧を掲載しています。

⑦【成果指標】

「めざす姿」の達成度を具体的に測るために施策ごとに設定したもので、原則として平成20年度を基準値とし、平成26年度を中間目標、平成31年度を最終目標としています。なお、巻末の付属資料（P231～）に一覧を掲載しています。
*出典の「市民アンケート」は、巻末の付属資料（P224）の「まちづくり目標に関するアンケート」を指します。

※統計データについて

本市は、平成18年3月に津久井町及び相模湖町と、平成19年3月に城山町及び藤野町と合併したため、掲載データは次のとおり表記します。

○掲載したデータの全期間に、旧相模原市及び旧津久井町、旧相模湖町、旧城山町、旧藤野町のデータを含むもの

→ 表記＝《全期間：1市4町》

○掲載したデータの期間が、

- ・平成17年度（年）までは、旧相模原市のデータのみ
- ・平成18年度（年）は、旧相模原市及び旧津久井町、旧相模湖町のデータを含むもの
- ・平成19年度（年）からは、旧相模原市及び旧津久井町、旧相模湖町、旧城山町、旧藤野町のデータを含むもの

→ 表記＝《～H17：1市、H18：1市2町、H19～：1市4町》

○掲載したデータの期間が、

- ・平成17年度（年）までは、旧相模原市のデータのみ
- ・平成18年度（年）からは、旧相模原市及び旧津久井町、旧相模湖町、旧城山町、旧藤野町のデータを含むもの

→ 表記＝《～H17：1市、H18～：1市4町》

40